

第3講：日本の博物館と博覧会

レポート2の回答は水曜日5時限までに上げます
授業ではリンク先ウェブサイトを見ます

06001 6158

1. 博覧会 exhibition の時代

1) 万国博覧会 universal exhibition, world's fair, exposition (expo),

万国博覧会は多くの国や地域から多数の品々が出品される催しで、博物館と同様にヨーロッパ近代で生まれた。ロンドンで第1回万国博覧会が開かれたのは1800年代（19世紀）中頃である。一方、近代博物館はアッシュモリアン博物館を除けば、イギリスでは1700年代（18世紀）中頃、フランスでは1700年代（18世紀）末に始まる。18世紀が博物館の時代とすれば、19世紀が博覧会の時代となる。図式化すると、大航海時代（地球規模の知識と資料の獲得）→博物館→産業革命→万国博覧会となる

1862年 ロンドン万国博覧会 日本の福沢諭吉など文久遣欧使節が視察

日本では福沢の著作によって博物館と博覧会の両方の言葉が同時に輸入普及した

→博物館も博覧会もおなじ展示会という理解につながった

1867年 パリ万国博覧会 幕府および薩摩藩と佐賀藩が出品〔統一国家になっていない状況〕

1868年 明治に改元（その前は慶応、後が大正）

1873年 ウィーン万国博覧会 日本政府として初出品

博覧会—近代技術の展示場 | 国立国会図書館 <https://www.ndl.go.jp/exposition/index.html>

2) 近代日本の博覧会

江戸時代にも物産会〔ぶっさんえ〕や朝顔市など各地の産物の総合市や品評会といった、近代の博覧会と同様の展示会が存在した。明治時代の日本で、博覧会はそれらの現代版として受容されたと想像される。

明治4年（1871） 京都博覧会（会場は西本願寺） 翌年「第1回京都博覧会」開催

明治5年（1872） 東京・湯島聖堂で官設博覧会（文部省博物局主催）

→出品物は1873年ウィーン万博へ、後に一部は東京国立博物館が収蔵

明治10年（1877）内国勸業博覧会 東京・上野公園 入場者454千人

昭和15年（1940）^{皇紀「こうき」とも} 紀元二千六百年記念日本万国博覧会（東京・横浜）→戦争で1970年まで延期

京都の博覧会 | 京都市 <https://www2.city.kyoto.lg.jp/somu/rekishi/fm/nenpyou/htmlsheet/toshi29.html>

史跡湯島聖堂 昌平坂学問所 | 史跡湯島聖堂 | 公益財団法人斯文会 <http://www.seido.or.jp/yushima.html>

3) 内国勸業博覧会と水産博覧会：跡地に博物館がつくられた

第1回 明治10年（1877） 東京・上野公園 跡地：東京国立博物館、国立科学博物館、恩賜上野動物園

第2回 明治14年（1881） 東京・上野公園

第3回 明治23年（1890） 東京・上野公園 入場者100万人突破

第4回 明治28年（1895） 京都・岡崎公園 跡地：市民会館、市立美術館

第5回 明治36年（1903） 大阪・天王寺公園 入場者4351千人 跡地：動物園、新世界・通天閣

イルミネーション、エレベータ、堺市に本格的で恒久的な水族館を設置→市立水族館として1961年まで存続

水産博覧会は、各地の近世以来の伝統的な漁業を集大成した。本格的な水族館も設置された。

第1回 明治16年（1876） 東京・上野公園

第2回 明治30年（1897） 兵庫・神戸和田岬 日本初の本格的な水族館を設置

神戸市：神戸の水族館 https://www.city.kobe.lg.jp/a09222/kosodate/lifelong/toshokan/furusato/kobe_shiru/suizokukan.html

公文書にみる発明のチカラ 第一部 内国勸業博覧会：国立公文書館

<http://www.archives.go.jp/exhibition/digital/hatsumeai/contents/category01.html>

1903年第5回内国勸業博覧会 | サムネイル一覧 | 博覧会—近代技術の展示場 [イルミネーションと堺水族館]

<https://www.ndl.go.jp/exposition/data/T/T028.html>

第五回内国勸業博覧会堺水族館図解：水産研究・教育機構 図書資料デジタルアーカイブ

http://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/A068_N1_7.html

堺水族館のあゆみ | 堺市 https://www.lib-sakai.jp/kyoudo/kyo_digi/sakaikoutoohama/kyo_digi_sui.htm



山本松谷「堺水族館の図」『風俗画報』臨時増刊269号（明治36.6.10） <https://www.ndl.go.jp/exposition/data/R/355r.html>

4）現代の日本の博覧会

日本語 URL は自動リンクにならないのでコピペして下さい

1968（昭和43）年 北海道百年記念・北海道大博覧会（札幌） 内地では「明治百年」

1970年 日本万国博覧会（大阪万博） ←明治元年（1868）の約100年後

テーマ「人類の進歩と調和」、展示業界の確立、「ディスプレイ」の定着、太陽の塔

跡地：国立民族学博物館（国立学校設置法に基づく大学共同利用機関として1974年設立、1977年開館）

初代館長：梅棹忠夫（うめさお・ただお）は日本の展示や博物館思想に大きな影響を与えた

特別展「ウメサオ タダオ展」国立民族学博物館 <https://older.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/umesao/index>

1975年 沖縄国際海洋博覧会（沖縄海洋博） 沖縄・本部町→跡地に沖縄美ら海水族館

1985年 国際科学技術博覧会（科学万博） 茨木・つくば市

1990年 国際花と緑の博覧会（花博） 大阪・鶴見緑地

*万国博覧会は、規模の大きい一般博／登録博、小さい特別博／認定博、に区分される。大阪と愛知が登録博。

博覧会資料COLLECTION | 乃村工藝社 <https://www.nomurakougei.co.jp/expo/history>

大阪万博 | 万博記念公園 <https://www.expo70-park.jp/cause/expo/>

5) 博物館と博覧会

O6001 6158

博物館と博覧会はともに資料を収集し展示することは共通する。しかし、博物館は恒久の機関で資料の保存が第一目的であるのに対し、博覧会は一時的な催しで展示資料は保存しない。博覧会では資料は最終的には売却される。保存する場合は博物館が収蔵するのである。博物館と博覧会は似ているようで目的がまったく異なっている。明治の日本は両者を同時に輸入し、おなじようなものとして受け入れた。それは現在でも続いている。展示や集客を重視する価値観、特別展のような一時的な借り物による展示会の重視、保存や研究の軽視など。

*「勸業」とはどういう意味？ 勸業博覧会の目的は？ **百貨店＝デパートの原形も博覧会にあるという

近代百貨店の誕生 三越呉服店 江戸東京博物館 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/s-exhibition/project/3821/近代百貨店の誕生-三越呉服店/>
デパートの元祖 勸工場 | 札幌市 <https://www.city.sapporo.jp/chuo/gaiyo/history/documents/3-20.pdf>

2. 日本の近代博物館

1) 国立の博物館は博覧会から始まった

政府主催の本格的な博覧会は、広い建物の内部空間が利用できる湯島聖堂で始まった。東京国立博物館も国立科学博物館も東京の湯島聖堂〔東京ドーム近く〕で開催された博覧会を起源としている。

東京国立博物館（東博）

国立科学博物館（科博）

出自 文部省博物館による博覧会：明治5年（1872）

創立 明治5年（1872）

明治10年（1877）

創立時の名称 文部省博物館の博覧会

教育博物館

2) 東京国立博物館



本館



平成館



東洋館



法隆寺館

*図版〔写真や図、表など〕の出典が書いていない場合、それは著者（この資料では宇仁）のオリジナル

東京国立博物館の歩み http://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=155

1872（明治5）年 文部省博物館による博覧会〔湯島聖堂で開催〕（東博創立年）

→博覧会事務局が内務省に移管→（内国勸業博覧会）→農商務省に移管、上野公園に本館が開館

→宮内省に移管、帝国博物館となる→東京帝室博物館に改称→関東大震災〔1923（大正12）〕

1925（大正14）年 関東大震災の影響を受け、天産部〔自然史〕資料を東京博物館（現・科博）に譲渡

1938（昭和13）年 現在の本館が開館

1947（昭和22）年 文部省に移管、国立博物館と改称、文化財保護委員会付属機関

1950（昭和25）年 文化財保護法により文化庁付属機関となる

1952（昭和27）年 東京国立博物館に改称

2001（平成13）年 独立行政法人国立博物館を設立（これは組織名称、博物館の名称はそのまま）

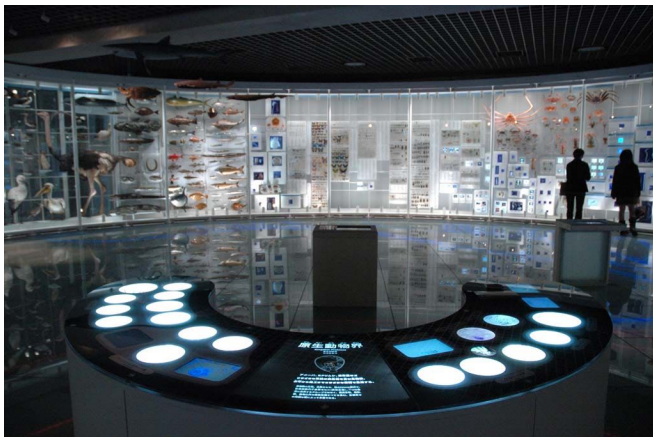
3）国立科学博物館の歴史



日本館外観



日本館3階北翼フタバスズキリュウ



地球館1階系統広場



地球館2階木製骨格標本 科博は科学史や技術史の展示もある

国立科学博物館の概要と沿革 <http://www.kahaku.go.jp/about/summary/history/index.html>

1872（明治5）年 文部省博物館による博覧会

1875（明治8）年 博物館を東京博物館に改称 1877（明治10）年 教育博物館に改称：科博創立年

1923（大正12）年 関東大震災により施設と資料のすべてを焼失→帝室博物館より自然史資料を譲り受け

1931（昭和6）年 東京科学博物館に改称、本館（現・日本館）が開館

1949（昭和24）年 文部省設置法により国立科学博物館を設置（改称）

1962（昭和37）年 自然史科学研究センターとしての機能付与、目黒の国立自然教育園を統合

1972（昭和42）年 新宿分館が完成、研究部を移転

973年 国立極地研究所を分離、1976年 筑波実験植物園を設置

1999（平成11）年 地球館展示公開開始

2001（平成13）年 独立行政法人国立科学博物館となる、2002年 産業技術史資料情報センター設置

2004（平成16）年 地球館全館公開

2007（平成19）年 英名変更 National Science Museum, Tokyo

→ National Museum of Nature and Science

2012（平成24）年 研究部と産業技術史資料情報センター設置が筑波地区に移転

*「国立科学博物館大学パートナーシップ」 <https://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/benefit.php>

学生証の提示で常設展の入館無料など特典いっぱい。農大も加盟している。

休憩 1855から再開

2. 国立の博物館 06001 6158

1) 狭義の「国立博物館」

「の」があるかないかで意味が異なるときがある

狭義の国立博物館は東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館の4館をさす。法律上の根拠は文化財保護法（＝文化財の陳列施設であり社会教育のための機関ではない）、現在は独立行政法人国立文化財機構に属する。

文化財保護法を根拠とする国立の博物館は他に、国立美術館7館（東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立映画アーカイブ、国立西洋美術館、国立国際美術館、国立新美術館、国立工芸館）があり、独立行政法人国立美術館に属している。



写真：2020年7月12日に開館した国立アイヌ民族博物館 <http://nam.go.jp>

博物館法は国立の博物館は対象外＝国立館に学芸員はいない、いるのは研究員。

2) 博物館を規定する法律と設置者

博物館の設置〔組織や建物をつくり運営を始めること〕根拠となる法律は複数ある。博物館法に限らない。

博物館法 地方公共団体、その他の法人（2022年4月に改正された）【次回授業のテーマ】

文化財保護法*6 文化庁（狭義の国立博物館と国立美術館）

文化芸術基本法 国立近現代建築資料館（当時は文化芸術振興基本法）

その他の法 文部省設置法*1→国立科学博物館

科学技術振興事業団法*2→日本科学未来館

アイヌ文化振興法→国立アイヌ民族博物館*3（主務官庁は国土交通省*4と文化庁*5）

*1 文部省設置法：衆議院 http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_housei.nsf/html/houritsu/00519490531146.htm

*2 国立の博物館は独立行政法人となったため、現在は個別の設置法を根拠とするが本質はそれ以前の法にある

*3 ウポポイ（民族共生象徴空間）NATIONAL AINU MUSEUM and PARK <https://ainu-upopoy.jp>

*4 アイヌ施策 | 北海道開発局 <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ud49g7000000ao02.html>

*5 アイヌ文化の振興等 | 文化庁 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/ainu/index.html>

*6 文化財保護法：衆議院 https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_housei.nsf/html/houritsu/00719500530214.htm

3) その他の国立の博物館

文部科学省所轄以外のミュージアムは博物館の文字列の使用は避けることが多い。英語では museum を用いる

国土交通省近畿地方整備局 川の資料館 <https://www.kkr.mlit.go.jp/river/manabuasobu/watch.html>

海上自衛隊呉史料館「てつのくじら館」 JMSDF Kure Museum <https://www.jmsdf-kure-museum.go.jp>

皇居三の丸尚蔵館 国に寄贈された皇室の美術品を収蔵、宮内庁所管であったが2023年10月から国立博物館とおなじ国立文化財機構の所属＝文化庁所管 The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan

日本語 <https://shozokan.nich.go.jp/> 英語 <https://shozokan.nich.go.jp/en/>

英語の名称が本質を現している。以下の例もおなじ

日本科学未来館 日本語の博物館は古いものを扱うという一般認識から避けた？根拠は科学技術基本法

National Museum of Emerging Science and Innovation <https://www.miraikan.jst.go.jp>

英名で museum を名乗らない（名乗れない？）施設もある。理由は収蔵（所有または預かり）資料が無い

国立新美術館 英名は National Art Center, Tokyo <https://www.nact.jp>

参考文献

西村三郎. 1999. 文明のなかの博物学 西欧と日本. 紀伊國屋書店.

関秀夫. 2005. 博物館の誕生. 岩波書店（岩波新書953新赤版）.

平凡社. 2005. 別冊太陽 日本のこころ113 日本の博覧会.

【レポート3】課題：学術情報課程への期待や希望を記す

件名：博物館概論レポート3 [3は全角]

本文：1行目：署名欄とし、学科 学籍番号 [半角] 氏名（よみがな）とする。他のことは記さない

2行目：回答内容を簡潔に示すタイトルとする。他のことは記さない。1行におさめる

3行目：レポート本文は3行目から始める。文字数：本文400字以下のこと

提出先：教員のアドレス y3uni@nodai.ac.jp

提出期限：5月14日（火） 遅れた場合も提出してください。